



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 熊谷 直輔 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第999回例会 平成22年11月4日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「ダイハツ九州の現況」
ダイハツ九州 近藤常務取締役

●次回例会プログラム ゲスト卓話「労働法のポイント」
大分県労政福祉課 河野健造参事



前回(998回例会)の記録

平成22年10月28日(木)

■ゲスト

中津広域消防署副署長
相原一美氏

■ビジター

中野 登君(中津RC)

■出席報告

会 員 数 25名
免 除 者 数 0名
対 象 者 数 25名
本日出席者 20名
欠 席 者 数 5名
出 席 率 80.00%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 9名
メイクアップ 2名
欠 席 者 7名
修正出席率 64.70%→ **70.80%**

●メイクアップ

辛嶋(宇佐2001)
熊谷(職業奉仕セミナー)

●欠席者

松本、矢頭、長野(定)、長野(修)、小野、川崎、出納

◎ロータリーソング 四つのテスト

◎会長の時間 会長 青木秀暢

いよいよ明日から平成4クラブ交歓会に行ってまいります。3年ぶりで大変楽しみにしています。今年度のホストクラブである仙台平成RCで各クラブとの親交を深めることは勿論、東北地方に行くのは私にとっても数十年ぶりなので、今から東北の珍味等を堪能することを楽しみにしております。また帰って参りましたら詳しいご報告をいたします。

今日は、職業奉仕・米山月間最後の例会であります。米山記念奨学会の状況について少しお話します。ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源に日本の大学、大学院をはじめとする高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.4億円



(2008年度)と国内では、民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生は累計で、15,130人(2009年4月現在)になります。その出身国は世界116の国と地域に及びます。また、2012～2013年の奨学生の募集受付は2011年1月～4月末を予定しており、面接選考は6月頃となっています。選出されますと年間で26,000ドル支給されるとの事です。

◎幹事報告 幹事 土居孝信

●例会変更 宇佐、豊前西、豊前 各RC

●週報御礼 森田パストガバナー

●報告事項

・ガバナー事務所「ガバナーノミニー選出について」

・菊花展表彰式について





2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

◎例会の食事メニュー

仲秋の味覚膳



◎委員会報告

・クラブ管理運営委員会 若松委員長

明日10/29、平成4クラブ交歓会へ仙台平成RCに行つて参ります。メンバーは青木会長、二反田副会長、川崎会員、長野(修)会員、私若松です。

・職業奉仕担当 熊谷会員

10/23(土)、地区の職業奉仕セミナーに、辛嶋会員、長野(修)会員と私熊谷で行ってきました。

◎その他報告事項

○理事指名委員会委員のお知らせ

青木会長・二反田副会長・梶屋会員・若松会員・大和会員

◎ニコニコボックス 担当：ロータリー財団委員会

○加来会員

平成4クラブ交歓会に参加したかったのですが、明日から学会でハワイに行きます。前回のスイスのようにならずは無事に予定通り戻ってこれるように祈ってます。

○向笠会員

先週は例会を休み、九州医療センターで脳の検査を受けました。現在のところ問題ないとの結果が出まして安心しました。問題は足の方ですが、幸いにも車椅子を用意していただいております。会員が少ない中ではありますが、元気なクラブを目指して例会出席を続けて参りたいと思っています。

○辛嶋会員

最近ホームクラブ2週連続で休んでいます。しっかりメーキャップしていましたが、メーキャップ数が逆に余ってしまいました。

○土居幹事

先週木曜日は東京で私学審議会の会議があり例会を欠席しました。幹事代行を若松会員にお願いしまして、お世話になりありがとうございました。

◎ゲスト卓話

「救急業務の現状について」

中津広域消防署副署長
相原 一美 氏



○管内の紹介

中津市消防署管内の面積は、491.15km²、世帯数

36,482戸、人口は85,897人。いずれも平成22年4月1日現在の統計です。

消防本部・消防署本署として、市内上宮永364に昭和51年7月に建築した消防庁舎に職員数73名、車両台数15台を装備しております。さらに、耶馬溪町大字大島2216-1に、昭和50年3月に建築した耶馬溪分署庁舎、職員数25名、車両台数5台を装備しています。消防本部・消防署職員総数98名で、安心して暮らせる市民生活に努めています。

○救急救命士の紹介

平成3年4月救命率を高めるにはプレホスピタル・ケアの充実が必要として「救急救命士法」が制定、交付されました。その後制度は大きく変化をとげています。救急隊員の応急処置の拡大、救急救命士の医療行為、心肺停止状態の傷病者に対して、医師の指示で、気管内挿管や薬剤投与など救急救命士の活躍が期待されています。救急隊員は日々実習や研修に励み、責任の重大さを感じながら、救命率の向上に努めています。

○管内の救急出動状況

平成21年の救急出動件数は3,392件、搬送人員は3,210人で、出動件数は前年比+89件で、過去最高の出動件数となりました。内訳を見ると、急病として出動したのが、全出動の約半数となっています。交通事故や一般負傷事故が全体の約2割となっています。病院間の転院搬送は、全出動の26%です。

過去10ヶ年の救急推移状況から、出動件数は年々増加しております。年齢別に見ても65歳以上の高齢者の搬送がもつとも多く、高齢化の影響も考えられると思われます。しかし、傷病程度別の搬送状況から、全搬送人員の約3割が軽症となっています。全国的に救急車の安易な利用はしないよう呼びかけていますが、当消防署でも、救急医療週間や市報等を通じて呼びかけています。限られた救急車両です、本当に必要なとき出動できないかも知れません。

○応急手当の必要性

救急車の到着まで何もしていなければ、助かる可能性は低いと思われます。中津市消防署では、市民を対象にした応急手当の講習会を開いています。昨年は一般救急講習会を66回開き2,819人の方が受講されました。

さらに、受講された方に講習修了証を交付する「普通救命講習3時間」を30回583人が受けております。受講された方は、「その場に居合わせた人」の自覚を十分に発揮していただけるものと期待しております。

○救急講習会の問い合わせ

中津市消防署 TEL 22-0001(代) 担当 救急係

「救命のリレー」この鎖が途中で切れる事のない様にしたいものです。「助かる命を救うのはあなたかも!!」